

# フィリア・レター

～ 真の友人からの手紙 ～



発行所: 中部ろうさい病院

〒455-8530

名古屋市港区港明1-10-6

TEL 052-652-5511

FAX 052-653-3533

<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>

## 外来のご案内

### 腎臓内科

当院では日本腎臓学会の慢性腎臓病ガイドラインに基づいて治療を行っています。早期発見・早期治療を目的とし、専門的な知識を持つ薬剤師、看護師、栄養士による服薬指導、生活指導、栄養指導も積極的に取り入れています。軽度の腎臓機能低下でも動脈硬化がすすみ心筋梗塞や脳卒中の危険性が高くなるため他の診療科とも連携し治療しています。

腎不全治療では血液透析だけでなく、御自宅で睡眠中に行える腹膜透析も行っています。

年に一回は健康診断を受け、尿検査で異常が見つかった場合には早めの受診をお勧めします。

腎臓内科部長代理 志水英明



### 心臓血管外科

心臓血管外科で行う手術には、冠動脈バイパス手術や弁膜症手術などの心臓手術以外に、胸部大動脈瘤、腹部大動脈瘤、解離性大動脈瘤などの大血管手術、さらに閉塞性動脈硬化症に対するバイパス手術、下肢静脈瘤に対する手術(ほとんどが外来手術)などで、幅広く行っています。手術となると怖いイメージがありますが、患者さんとご家族に、手術の必要性と危険性、合併症について十分に説明し、納得していただくから、手術を行うように努力しています。常に患者さんの立場に立った医療を心がけ、

『手術を受けて良かった』と一人でも多くの患者さんに言ってもらえるように努力しています。

心臓血管外科部長 松山 克彦



### 今月号のお知らせ

#### ①外来のご案内

歯科口腔外科・耳鼻咽喉科

産婦人科・麻酔科・心臓血管外科

泌尿器科・皮膚科・腎臓内科

リハビリ科

#### ②患者さんの声 ～労働者の味方～

#### ③編集後記

## 皮膚科

当科は皮膚科疾患全般にわたり診断できる対応を整えています。見た目だけの診断が困難な疾患に対しては、皮膚病理組織検査を行ない確定診断することにしていきます。治療に関しては、可能であれば通院で、入院が必要な場合は入院していただき、それぞれの患者さんの症状や状態によって行なっています。

また、美容皮膚科として、レーザーを使用した老人性色素斑などの治療や脱毛を行

うとともに、ニキビなどに対するケミカルピーリングも行っています。

皮膚科部長 押谷 佳美



## 泌尿器科

1962年(昭和37年)中部労災病院に泌尿器科が開設されてから今年で48年目を迎えました。この間2007年(平成19年)7月より新外来棟2階にて新たな外来診療がスタートしました。診察室2、内視鏡室1、超音波検査室1、処置室1、性機能測定&診察室1、尿波室1で患者さんのプライバシーを配慮して快適に受診されるように設計に工夫がなされています。

高齢化社会を迎えて、前立腺肥大や夜間頻尿などの下部尿路疾患、また前立腺癌や膀胱癌などの尿路性器の悪性腫瘍が昨今増

加しております。患者さんのニーズに沿った最新の診断、治療が当科のモットーです。尚、(月)(水)の午後は性機能専門外来を開いておりますので、併せてご覧ください。

泌尿器科部長 小谷 俊一



## 産婦人科

産婦人科は5人の医師が診療に携わっています。当科の特長として、外来受診時から入院手術に至るまで、可能な限り同じ医師が主治医として担当するようにしています。若い医師であっても上級医師のバックアップが整い、治療方針が違うことはありません。主治医の変更も自由ですから、遠慮なく看護師や受付に申し出てください。子宮癌、卵巣癌、妊娠・分娩、不妊、更年

期障害に至るまで高度な医療を提供しますので、安心して受診してください。

産婦人科 副院長 加藤 千豊



★「フィリア・レター」は、「中部ろうさい」病院が、患者さまに向けて当院の現況や新しい医療情報などを発信したり、患者さまの建設的な意見を反映する広場として発刊しています。

## 耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科、頭頸部外科疾患全般を対象としていますが、特に手術加療(鼓室形成術、アブミ骨手術、内視鏡下鼻内手術、甲状腺ならびに頭頸部腫瘍摘出術など)を主体として行い、めまい、平衡障害の原因、成因を追究しています。さらに労災認定のために神経耳鼻学検査の高度化を図っています。2007年7月にNBI電子スコープを導入しました。粘膜内癌の発見、生検を行うことで早期癌診断で患者のQOLを高めることができます。

### 外来診療

月～金 初診受付は午前8時15分～11時30分。再診は原則予約制。

正木部長＝火、木。専門外来は火曜午後  
に中耳外来、副鼻腔外来、腫瘍外来、水曜  
午後にはめまい外来、補聴器相談、木曜午後  
にSAS外来、補聴器相談、労災認定外来を  
開設しています。

耳鼻咽喉科 副院長 正木 道熹



## リハビリ科

リハ科医師3人、理学療法士13人、作業療法士7人、言語聴覚士2人、マッサージ師1人で急性発症後のリハ、外科手術後のリハに注力しています。また、初期治療後の脊髄損傷、切断、脳脊髄疾患などのリハ治療にも対応しています。リハ工学センターと連携し、新たな治療法の研究開発、障害者用の周辺機器の作製指導なども行います。リハ施行患者数は1日平均約160人。リハ科総床面積は約850㎡ 外来診療は医

師診察、リハ治療ともに完全予約制です。

リハビリ科部長 井上 虎吉



## 歯科口腔外科

### 二つの診療科名は何故？

“歯科口腔外科”という診療科名は、少し変に思われる方がいるかもしれませんが。というのは、“歯科”と“口腔外科”の二つの科名が一緒になっているからです。

本来、“歯科”に対する言葉は“医科”であり、“口腔外科”は歯科の中の専門診療科を示すものです。同様に、“内科”や“外科”などの標榜を“歯科口腔外科”と同じような表記にするならば、“医科内科”“医科外科”となるはずで

では同じ病院なのに、なぜ標榜が“口腔外科”単独ではないのか？“歯科口腔外科”という変則的な標榜は、世界的にみても日本だけでされている表記で、国(厚生労働

省)が決めている公式な標榜科名となっています。

つまり、当院の“歯科口腔外科”は“歯科一般”ではなくて、“口腔外科”の専門診療をおこなっている専門診療科です。

歯科口腔外科・口腔インプラント科部長  
鈴木 英治



★中部ろうさい病院のホームページで、〈病院の情報〉〈フィリア・レター〉〈ろうさい病院つうしん〉がご覧いただけます。携帯電話からもアクセスできます。どうぞ、ご利用ください。

## 麻酔科

ペインクリニック(疼痛)外来では、带状疱疹後神経痛(オビクサのあとの痛み)や外傷後神経痛など神経が障害されたために生じる痛みの治療を主に行っています。局所麻酔薬を用いた神経ブロックのほか麻薬を含めた各種薬物療法を駆使して痛みに対処します。痛みが慢性化すると痛みの制御はますます困難となるため、市販の痛み止め等で効かない場合は早めに当科へご相談下さい。毎週木曜日の午前中に開いてい

ます。

麻酔科部長 若松 正樹



## 患者さんの声

私の娘も20年近く前に、ハンドボールで肩関節を脱臼し、手術をしていただきました。それ以来、快調に毎日を過ごしております。また、主人も火災現場でひじ関節を骨折して、M大学で治療を受けながら30年来、痛い痛い毎日過ごしておりました。しかし、労災の先生のご相談したところ、すぐにレントゲンを撮って、貴方の場合は、この骨が痛みを生じさせるものであり、手術してもまた同じようになる可能性があるので、「痛みと上手にお付き合いしてください。」と診断していただき、その後、納得して、自分にしっかりと言い聞かせてしまうことができましたようです。そのとき、やっぱり、立派な先生の言葉には重みを感じました。今度は私が脊髄狭窄症と診断されT病院で治療を受けていましたが、快方することなく毎日が痛みの連続で、以前より痛みが増してきたので、藁をも掴む気持ちで、中部労災病院の加藤文彦先生に予約なしで診察をお願いしたところ、休日にも係らず快くMRIを撮っていただき、後日、即刻診断(T病院の診断とは異なっていました。)していただき、本入院し、治療する運びになりました。

私と主人は、先生が「治してあげるから安心なさい。」との言葉に大変力をもらいました。「さー。」今日からは、職業を持ちながら病気と闘うことになりましたが、中部労災病院の先生方、そして多くのスタッフの皆様、お世話になりますが、よろしくお願ひします。

2009年2月5日(名古屋市守山区 K.H)

## 編集後記

NHK 02/11放送「双子に学べ」を見ました。一卵性双生児は遺伝的に同一なので仕草や考えも似るが、歳をとると外見も似なくなる兄弟もいるとか。必ずしも同じ病気になり易い訳ではなく、これは環境や過ごし方の違いによるとのことです。つまり、健康も学業成績も遺伝の影響より、日頃の心掛けに左右される部分が多いということになります。日々の過ごし方に気を付けなくてはと改めて思いました。

(M.M.)